

肩装具

脳卒中患者に対する肩装具は主に肩の痛みのある方、麻痺が重度であるために自分で肩を動かすことが出来ない方に対して使用します。腕の重さはおおよそ6%と言われ、60 kgの方で3 kgと考えると、歩行する時やトイレ動作などで腕が重力に引っ張られることで肩に痛みを訴える方は少なくありません。肩装具で腕を固定することで、肩の脱臼を防ぐこと、動作時の腕のコントロール（腕が重力によって動いてしまい、ブラブラと動いてしまうことで身体が動きづらくなる）が可能となり動きが良くなることが望めます。



【メリット】

- ①誰でも簡単につけやすい
- ②痛みが軽減できる
- ③腕が身体につくため動きやすい
- ④比較的安価

【デメリット】

- ①肩が内側に捻じれる（内旋位）ため、拘縮しやすい（可動域制限となりやすい）
- ②猫背姿勢になりやすく（肩甲骨が外転しやすい）、歩くときもかがんだ姿勢になる



オモニューレクサプラスは、亜脱臼になりやすい脳卒中後の肩関節を懸垂するための装具です。肘関節を伸ばして懸垂しながら上肢の重みを体幹で支えます。肘関節の拘縮や廃用を防ぐだけでなく、歩容の改善や立ち上がり動作の安定が見られるようになります。姿勢が良くなるため姿勢を良くするためにも当院ではよく使用しています。肩関節亜脱臼による上肢の下垂ではしばしば痛みが発生します。装具によって関節を正しい位置に戻し、痛みを軽減することで、痛みなくリハビリテーションが可能になります。

【メリット】

- ①痛みが軽減できる
- ②腕の位置（姿勢）が良くなるため姿勢が良くなり座位、歩行時身体が伸びる（猫背が改善される）

【デメリット】

- ①つけ外しに時間がかかり、調整バンドが多いため、使用には知識が必要（家族指導もさせていただきます）
- ②やや高価

※詳しくはカタログを添付しておりますのでそちらをご覧ください。